

## CSTI 評価の見直しに向けた具体的な運営案

	現在	新方式
評価対象	(1) 大規模研究開発 国費総額が約300億円以上の研究開発  (2) CSTI が指定する研究開発	(1) 大規模研究開発 国費総額が約300億円以上の研究開発で、 科学技術政策上の重要性等に鑑み、評価専門 調査会でCSTI 評価の必要性を判断  (2) 評価専門調査会が指定する研究開発
評価時期	事前評価 フォローアップ 中間評価 (必要に応じて) 事後評価 追跡評価 (必要に応じて)	事前評価  中間評価 <del>(必要に応じて)</del> 事後評価 追跡評価 (必要に応じて)  ※中間・事後の評価時期および追跡評価の実施 有無は事前評価の段階で決めることとし、各省 における評価時期とできるだけ整合をとること で評価の効率化を図る。
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトプット (直接的な成果)</li> <li>・アウトカム (政策目的に与える効果)</li> <li>・マネジメント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画や上位政策における位置づけ</li> <li>・アウトカム (政策目的に与える効果)</li> <li>・マネジメント</li> </ul> <p>※具体的な案件で実績を積み重ね、CSTI 評 価の視点の更なる具体化を図っていく。 ※個別課題としての評価は各省に委ね、各省評 価結果等を活用</p>
評価のプロセス	評価専門調査会 (キックオフ) ↓ ↓ 第1回評価検討会 (説明・質疑応答) ↓ 第2回評価検討会 (論点整理) ↓ ↓ 評価専門調査会 (とりまとめ)  ※各回で計4回の会議体を開催	評価専門調査会 (説明・質疑・論点整理) <ul style="list-style-type: none"> <li>・各省説明</li> <li>・各省評価委員会座長より評価結果報告</li> <li>・質疑応答／論点整理</li> <li>・有識者を臨時委員として招へい (必要 に応じて)</li> <li>・非公開で議論 (必要に応じて)</li> </ul> ↓ 評価専門調査会 (再説明・質疑・とりまとめ) <ul style="list-style-type: none"> <li>・論点整理に対する各省の見解の確認</li> <li>・非公開で議論 (必要に応じて)</li> </ul> ※各回で計2回 (原則) の会議体を開催 ※議論のための時間を十分確保